一般質問にて（令和4年６月６日：要約）

小中学校のAEDの校庭開放中にも使える場所への配置を求む！

AED参考画像

区長答弁

・施設管理や経費などの課題を整理し対応策の検討を進めていく

しいなの一言

区内の小学校51校、中学校22校の7割近くがＡＥＤは校舎内に設置されており、休校時にも利用可能な体育館や校庭開放時には緊急時にＡＥＤが直ぐに使用できないことが分かりました。板橋区では地域センターに設置したＡＥＤを24時間必要時に誰でも使用できるように建物外に設置されています。本区内の小中学校のＡＥＤ設置場所を校舎内から緊急時に使用可能な位置への設置を求めます。
突然の事故や病気など救急車を呼ぶような現場に遭遇したとき、救急車が到着するまでの間に救命措置を行う事は大変重要なことであるといわれています。本区でも普通救命講習を小中学生に実施しており、小学6年生には「けがの防止」を中心に中学8年生には「けがの防止と応急手当」心肺蘇生やＡＥＤの使い方を学んでいます。そして区立小中学校での救急搬送、ＡＥＤ使用のケースは令和2年度に1件、令和3年度に1件づつありました。スポーツ中の急変での救急搬送は心疾患が主です。

在宅の酸素濃縮装置利用者へ非常用電源装置を給付項目に追加を求む！

⇦ポータブル電源参考画像

商品により
重量約1～2Kg

⇦酸素濃縮装置参考画像

商品により
重量約17Kg～40Kg

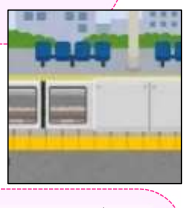
区長答弁

・令和４年度より、在宅人工呼吸器使用者を対象に非常用電源装置給付事業を開始
・酸素濃縮装置など医療機器を利用されている方々の実態把握に努める

しいなの一言

在宅酸素療法（ＨＯＴ）は、現在では在宅医療の中でも最も普及している治療法です。区内の要介護５でご自宅でこの治療をされている方が、台風１９号で千葉の鋸南町で長期間の停電があったことを知り非常用電源装置の購入に踏み切りましたが、金額も高額で、精神的なご不安だけでなく、ご負担も大きかったというお話を頂戴しました。在宅呼吸ケア白書のアンケートによると５３％の方が「停電、災害時の不安」を訴えております。地震などの災害が多発する我が国では在宅医療における万一の備えが重要ですが、この医療機器を使用している方は、災害時避難所を利用するのも大変厳しい状況です。自宅に据え置く酸素濃縮装置を避難所へ持ち込むことは、大きさや重量で厳しい状態です。電気の供給が無ければ酸素濃縮装置から酸素が出なくなります。先行自治体を調べたところ、障がい者や難病の方を対象にしているところが中心ですが、江別市や札幌市、浦河町では給付が始まっています。在宅で濃縮酸素装置を利用している方へ停電時に備え、非常用電源などを日常生活用具などで給付できるよう、障がい者、高齢者と縦割りの制度だけでなく、横断的に手を差し伸べてください。まずは、区内の利用者の実態把握を求めます。そして、都への働きかけを行ってください。

ホームドア等だれもが快適に駅を利用できるような改良について



区長答弁

・誰もが快適に利用できる駅への改良は、東武鉄道へ要望していきたい

しいなの一言

今年の3月1日から東武練馬駅前通りの夕方からの車両通行止めが実現しました。地元からのご要望、多くの会派や議員からホームドアや踏切を始めとした鉄道関係の安全対策が取り上げられております。東武練馬駅は主となる改札口は上り、下りに各1か所、現状のままホームドア設置となればもともと狭いホームが更に狭くなることが危惧されます。上りホームにある臨時改札口は朝の1時間しか開いていません。こちらを常時利用可能にすることでホーム内の人流も2分化され、より利便性も高まります。ホームドア設置時などの工事を行う際にはだれもが快適に駅を利用できるような改良について東武鉄道株式会社側へ求めて下さい。

しいな ひろみ プロフィール

板橋区　しいなひろみ　検索

地元の北野保育園、北野小学校、赤塚第一中学校出身　親子四代板橋在住　早稲田大学大学院スポーツ科学
介護予防マネジメント修士卒業。デイサービスや訪問介護事業所等の運営、介護教員としてのヘルパーの育成と、
介護現場の経験を活かし活動。主任ケアマネジャーとして地域で暮らす高齢者の方々と共に歩んで参りました。
平成３１年４月板橋区議会議員選挙に初当選。

公式HP

板橋区議会議員　しいなひろみ　〒175-0083　板橋区徳丸三丁目29番２号
E-mail hirorin@orion.ocn.ne.jp　HP　https://shiina-hiromi.com/

ご意見、ご要望をお寄せください！ 区民の皆さまからのお困りごとを改善いたします。お気軽にご連絡ください。

TEL　080-5187-7224（直通ダイヤル）　FAX　03-3579-2734